

尼崎市議会議長
前迫 直美 様

年 月 日

子どもの医療費を中学校卒業まで無料にすることを求める請願書

尼崎市南武庫之荘 11-12-1
尼崎社会保障推進協議会

紹介議員

新型コロナ感染の拡大が長期に及び、雇用・経営の悪化は家計を直撃、その影響は低所得者層ほど大きく、貧困・格差の拡大が進んでいます。

生活が困窮する世帯が増加する中で、必要な医療をすべての子どもたちに保障し、子どもたちの健康に暮らす権利を守るために、医療費助成金の拡充が今こそ必要です。

尼崎市の人口は若者の市内転入が増えていますが、子育て世帯は市外転出が続いています。原因の一つが子どもの医療費を中学校まで無料にしていないことです。子どもの医療費が無料でないことに、他市から尼崎市に引っ越ししたお母さんから驚きの声が上がっています。

この間、子どもの医療費を無料とする自治体が広がり、「中学校卒業まで通院・入院とも無料」の自治体は県下41市町のうち38市町と9割を超えました。残りは、尼崎市・神戸市・伊丹市の3市のみとなりました。加えて、高校まで助成を行う市町は18市町となり、4割に達しています。

すべての子どもたちがお金の心配なしに安心して医療を受けられるよう、次のことをお願いいたします。

- 1, 子どもの医療費を中学校卒業まで無料にすること。

氏 名	住 所

(取り扱い団体) 兵庫県保険医協会尼崎支部

兵庫県保険医協会

尼崎支部ニュース

420号

2021年11月25日付

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階 兵庫県保険医協会 尼崎支部
TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

医療安全管理研修会

院内感染を防ぐために
- ワクチン接種を済ませても安心できない理由を再確認 -



防護具の着脱方法を丁寧に解説する小川氏



尼崎支部で取り組む子ども医療費助成制度拡充の署名と、クイズチラシを紹介する綿谷茂樹支部長

尼崎支部は10月30日に尼崎市内で医療安全管理研修会を行い、会員、職員ら15名が参加した。済生会兵庫県病院の感染管理認定看護師の小川麻由美氏が「新型コロナウイルス感染症を含めたこれからの外来感染予防対策～ワクチン接種を済ませても安心できない理由とは?～」をテーマに講演した。

小川氏は、インフルエンザが流行するかもしれない中で、今後注意すべき新型コロナウイルス感染防止対策を解説し、「交差感染の感染経路を遮断するには手指衛生が重要で、手指衛生を行う場面とタイミングを守り、手袋着用の有無に関係なく実施することが大切。防護具は正しく使用し、特に着脱は重要。普段から免疫を高める生活を心掛け、職員の健康状態把握と早期対応を。誰がコロナに感染してもおかしくないため、職員が罹患しても思いやる気持ちを忘れずに」とした。

防護具着脱について、手袋・ディスポガウン・エプロンの着用と除去の順番を参加者全員で実技を行い確認した。参加者アンケートでは、「マスク、ガウンの装着と実技演習は役にたった」、「エプロン、ガウンの除去のやり方がすぐに体に覚えられないので、動画があったらありがたい」、「飛沫予防で患者の前にたたず、横からアプローチすることが勉強になった」などの声が寄せられた。次号で参加者からの感想文を掲載予定。

ラジオ関西「医療知ろう！」に出演

大野先生が多様性の時代について語る

ラジオ関西番組「寺谷一紀と！い・しょく・じゅう！」内の協会提供コーナー「医療知ろう！」に10月14日、尼崎支部から大野良子先生(大野歯科)が「～風の時代～女性歯科医師としてこれまでの経験から感じたこと、これからの多様性の時代について思うこと」をテーマに出演。当日の様子は、放送後でも番組ブログや協会ホームページ(<http://www.hhk.jp/topics/2021/1007-090000.php>)からもご覧いただけます。



左から、大野良子先生、パーソナリティの寺谷一紀さん、アシスタントで元SKE48の犬塚あさなさん

今後の支部からの出演予定 金子明弘先生(かねこ内科循環器クリニック)
テーマ「心臓リハビリテーションについて」(12月23日)

兵庫県保険医協会の医師・歯科医師が、ラジオ番組「寺谷一紀と！い・しょく・じゅう！」「医療知ろう！」コーナーで「コロナワクチンはどうなるの?」「歯と全身の健康との関係は?」など身近な医療に関する疑問にお答えします。毎週木曜日夜7時25分ごろからは、ラジオ関西(AM558KHz)をぜひお聞きください。

寺谷一紀と！い・しょく・じゅう!
医療知ろう!

毎週木曜日 / PM6:00~8:00
コーナー / PM7:25~7:35頃
放送期間 / 2021年10月~2022年3月

ラジオ関西 AM558 FM91.1 AM 558KHz. / 1395KHz. (東北部) / FM91.1MHz.

尼崎社会保障推進協議会 2021年定期総会

尼崎市で中学生卒業までの医療費無料化を実現しよう 綿谷茂樹先生が会長に再任

尼崎支部が加盟する尼崎社会保障推進協議会は、11月6日(土)に尼崎市中小企業センターで2021年定期総会を開催、42人が参加した。

最初に綿谷茂樹会長(協会尼崎支部支部長)が、「新型コロナウイルス感染症の蔓延によって社会保障体制の脆弱性が明らかになった。尼崎社保協は引き続き社会保障費抑制策の転換を求めて運動を強めていきたい。兵庫県では41市町のうち、尼崎市を含む3市町のみ、中学校卒業までの窓口負担が有料だ。署名運動を巻き起こし、尼崎市でも無料化を実現しよう」と挨拶した(4面に署名用紙を掲載)。

続いて小林健一事務局長が、尼崎市に要望書を提出して交渉を行ったこと、後期高齢者の窓口負担2割化反対や介護保険改善などの署名運動、尼崎社保協ニュース発行などの2020年度活動を報告するとともに、2021年度方針として中学校卒業までの医療費無料化実現運動を柱にしつつ、生活相談や健康相談会にも力を入れて市民とともに運動を行うことなどを提案、採択された。会長には、綿谷茂樹先生が再任された。

記念講演は、佛教大学社会福祉学部教授・小児科医の武内一先生が「子どもの貧困とコロナ禍での子どもたち」をテーマに、貧困世帯と非貧困世帯の子ども達の心身の健康状態を比較した調査結果を報告。貧困世帯では母子世帯の割合、小中学生での喘息やアトピー性皮膚炎に罹患している割合などが高いこと、思春期前後の子ども達の自己評価が低いことなどを示し、貧困が子ども達の健康を脅かす要因になっていることをわかりやすく講演した。



会長再任の挨拶をする綿谷茂樹先生



所得格差と子どもの生活状況の分析から見えてくる実態を報告する武内一先生

第570回幹事会だより

10月21日(木) 於: 高原クリニック

- 尼崎支部の会員数 10/1 現在 医科 381人、歯科 165人
- 医療をめぐる情勢と運動対策

「子どもの医療費を中学校卒業まで無料にすることを求める請願署名」に取り組むことを協議した。れいわ新選組衆院選8区候補者・辻恵氏との懇談会を開き、医療政策・新型コロナウイルス対策について意見交流した。

- 次回日程 11/25(木) 14:00~ わたや整形外科(阪急塚口駅から南へ徒歩5分)
お問い合わせはTEL 078-393-1805 沖野・石本まで